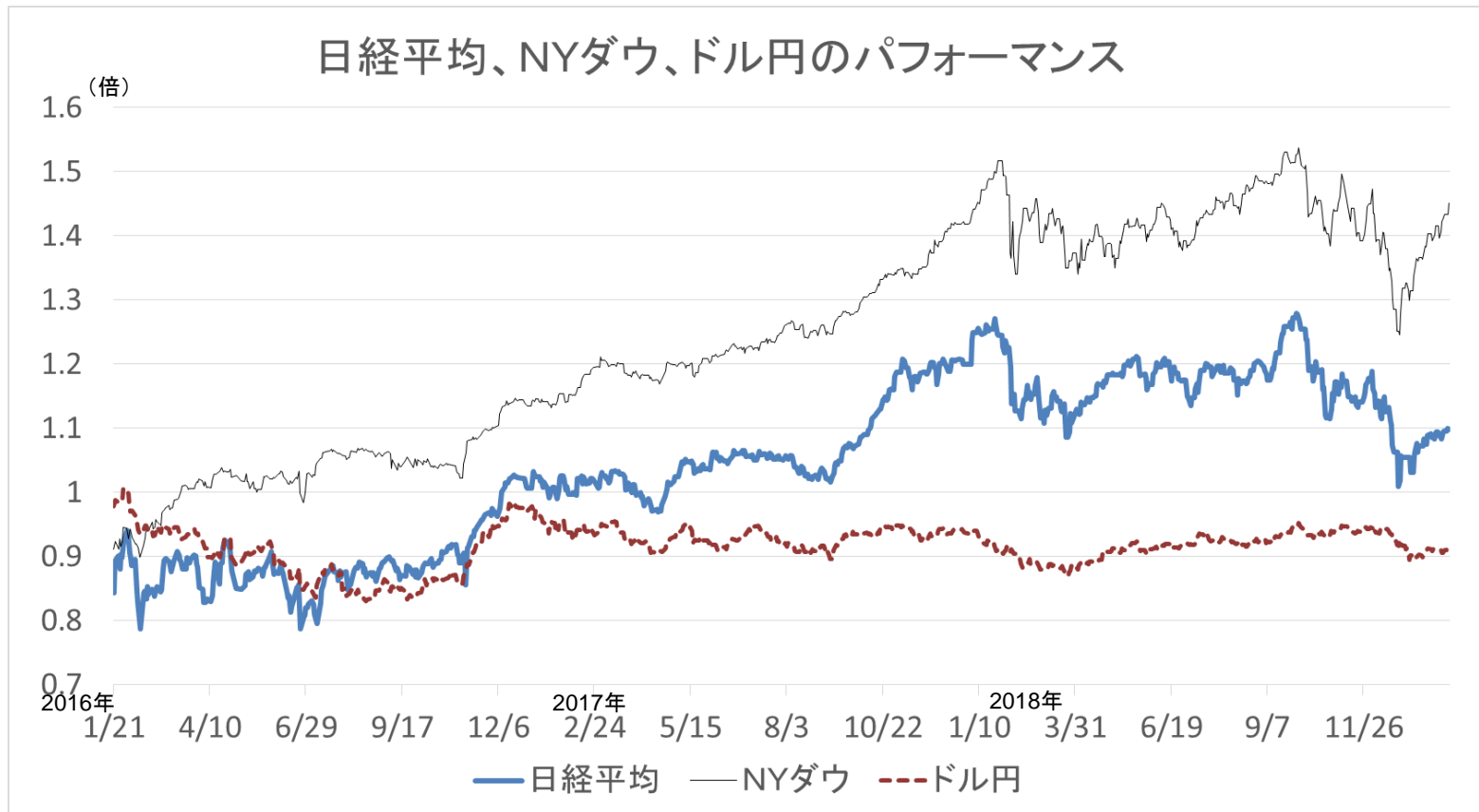


# 日米の株価推移

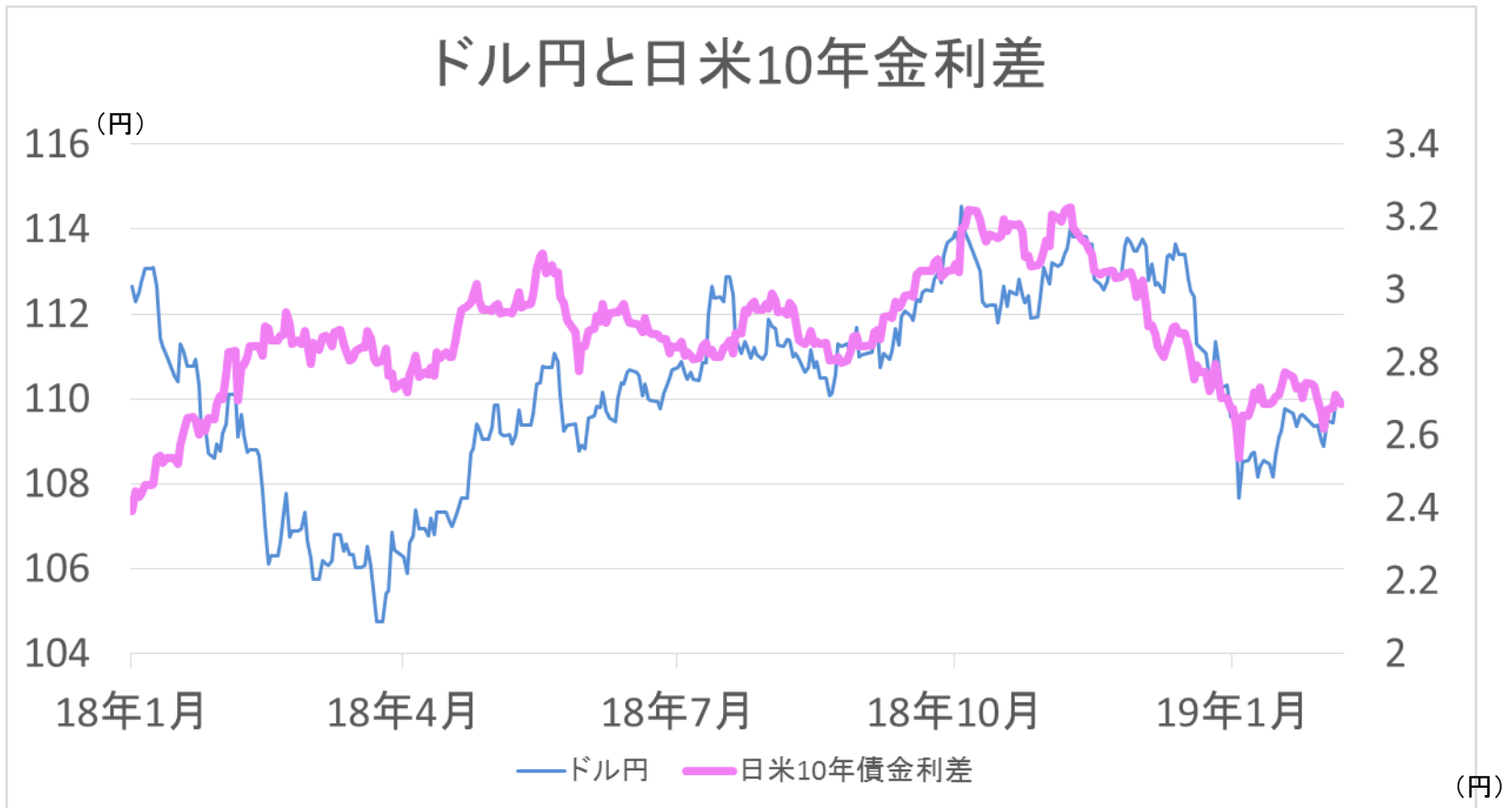
- 昨年は二回の高値の後、大きな調整となった
- 日本株も大きな調整となった後の戻りが鈍い



(※2015年末を1)

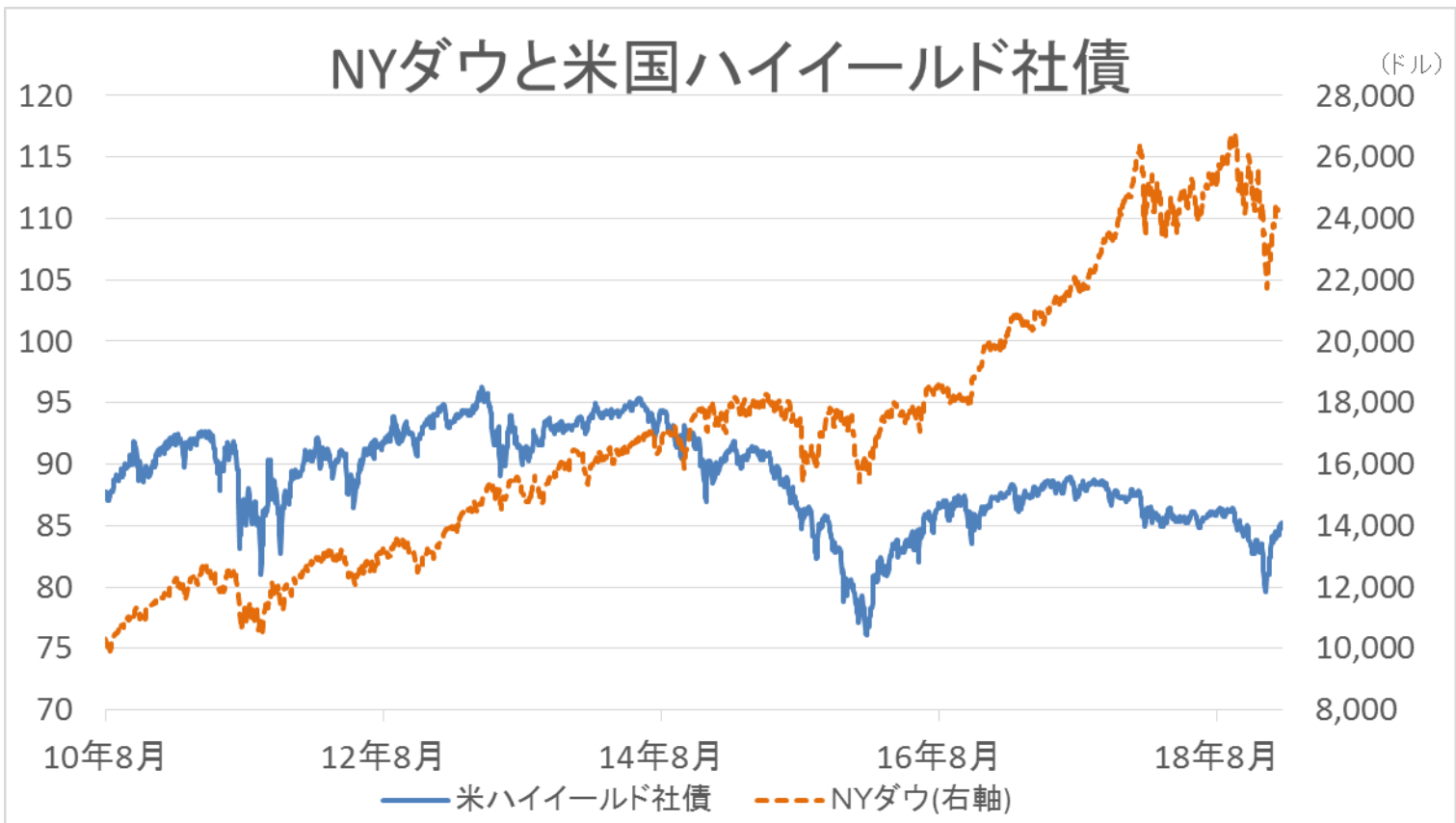
# 日経平均株価とドル円レート

- 教科書的には日米金利差の拡大は円安要因
- 利上げ打ち止め感で米債の金利が低下→円高？



# リスクオン・オフは何で見る？

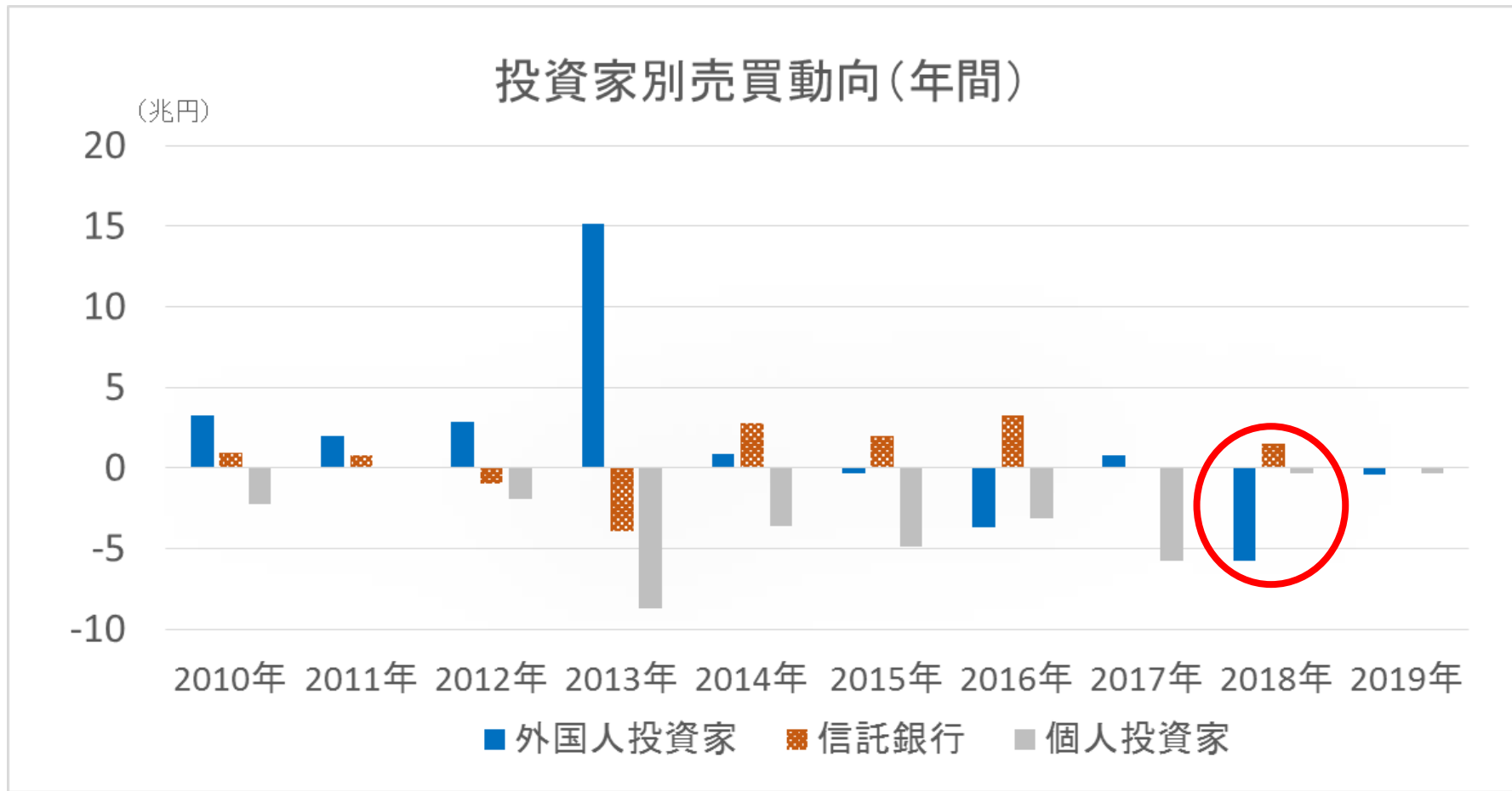
- 米国のハイイールド債を定点確認してリスク許容度を確認
- 低ボラティリティで格付けの低い債券に資金が大量に流入



(こころトレード研究所作成)

# 投資家別売買動向

➤ 外国人投資家: 売り越し続く 個人投資家: 今年は買い出動

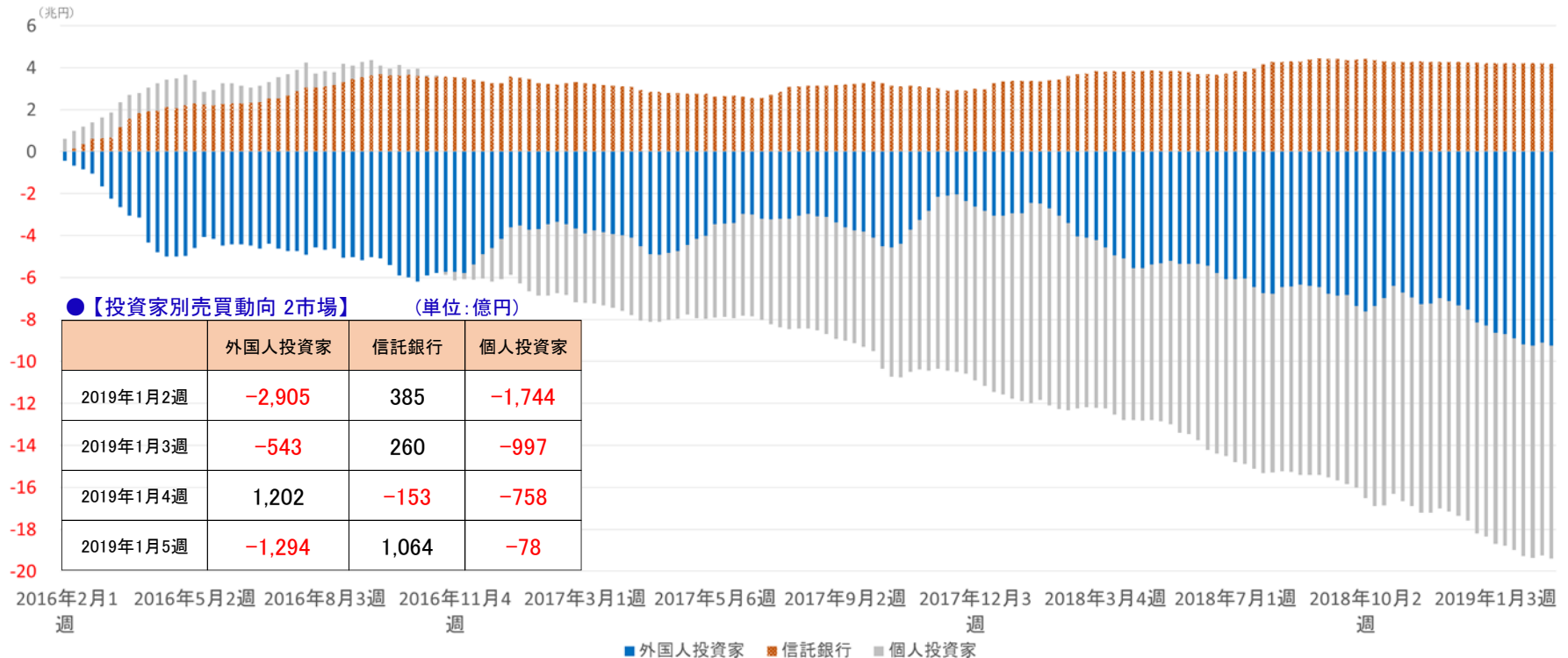


(出所: 日本取引所グループ)

# 投資家別売買動向

- 昨年是一年を通して外国人投資家の売りが続いた
- 今年も外国人投資家動向、GPIFのポートフォリオ変更注目

投資家別売買動向



(出所: 日本取引所グループ「投資部門別売買動向」よりこころトレード研究所作成)

# 今年のレンジ

## ● 今年の株式市場は厳しい

- 景気・業績のピークアウトを頭に入れておきたい
  - 日米共に今年EPSが大幅鈍化又は減益へ
  - マクロと業績のピークアウトの見極めが必要
  - 株価は米国の調整幅の方が一番大きいだろう
  - 日本株はBPSバリアで下方硬直性が見られるはず
  - 需給面は日銀のETF買い入れ&信託のリバランスの買い vs 外国人投資家の売り
- 年末までのレンジ
  - NYダウ: 20000\$~26000\$
  - 日経平均: 18500円~24000円

# 今年の日本株投資アイデア

## ● 材料株と配当株（個別株戦略）

- ポジションを減らして底でエントリーか局地戦の選択
  - 経済環境と業績を押さえつつ投資したい
  - あまり空売りはお勧めしない、吹き上がった際に行くべき
    - ※ 空売りはPKOなど好材料で一気に担がれることが多い
  - 短期投資（デイやスイングも視野に入れて戦略を立てる）
- 材料株
  - テーマ性がある銘柄を物色（EV、消費増税関連、M&A関連）
  - セクター戦略も有望（運輸：海運・陸運、紙パルプ、土木、空調セクター、キャッシュレス、円高メリット享受）
- 高配当株

# 土木セクター

## ● 東京五輪を前に終了とされていたがもう一花咲く？

- 東京五輪を前にして建設のピーク
- 通常はピーク前に株価は下がるものだが。。。
- 足元の受注が再度増加傾向
- この形で積み上がると再度単価上昇の可能性大
- 収益拡大→株価上昇につながるのでは？
  
- 東京五輪後の東京の再開発、国土強靱化計画、災害復旧、リニア工事の恩恵なども



# M&Aセクター

## ● 昨年は案件の端境期

- 近年、日本では中小型のM&A仲介会社の成長が顕著だった
- 昨年、業績の鈍化が見られた
- 成長を期待して保有していた投資家の利益確定売り&投げにより  
株価は大幅に調整（高値から軒並み50%以上下落）
- 今年は案件の回復が見えている
  - 足元の四半期決算で好調な業績を確認できる企業も
- 再成長だとするとまだ上値はあるのではないか？